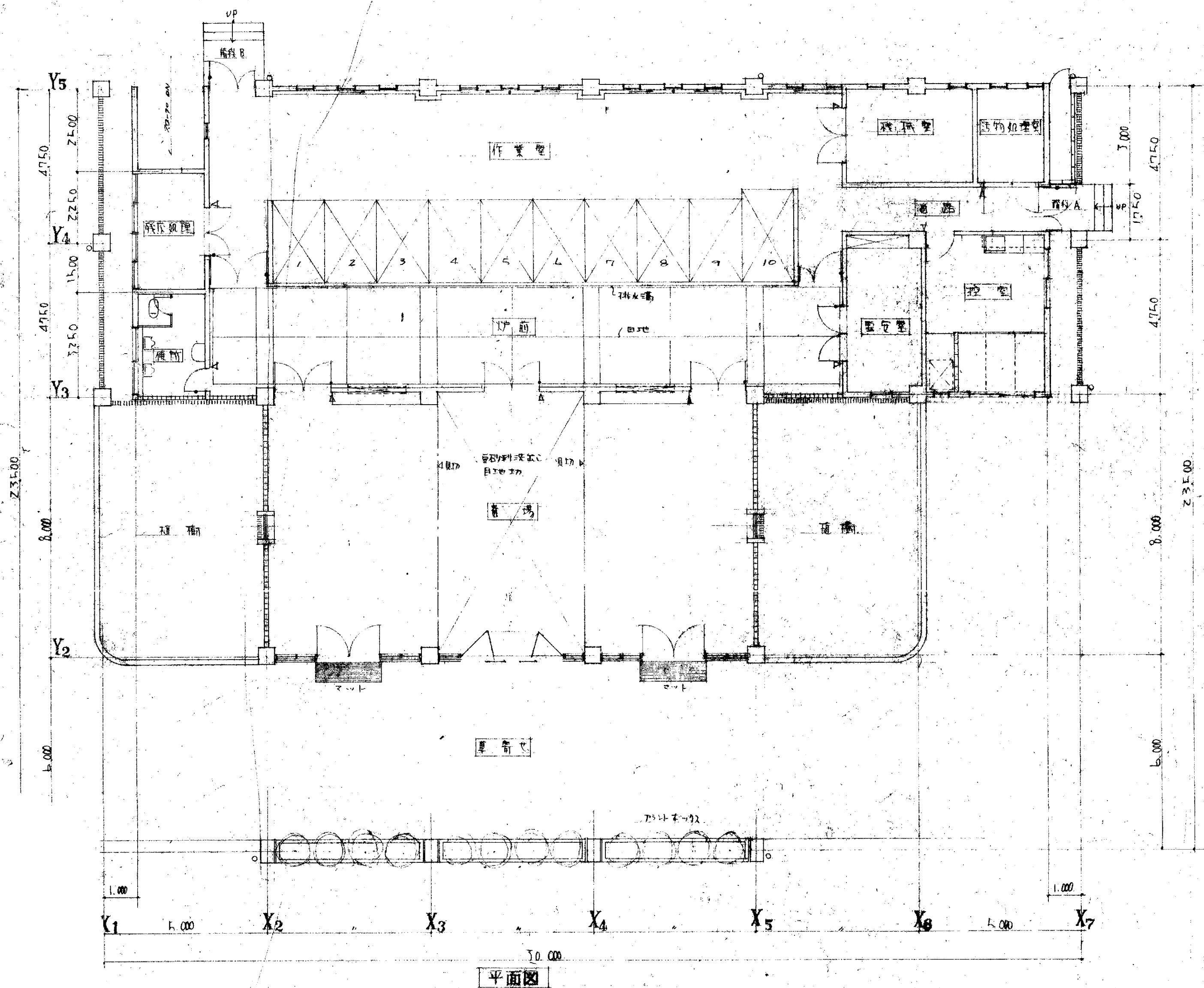


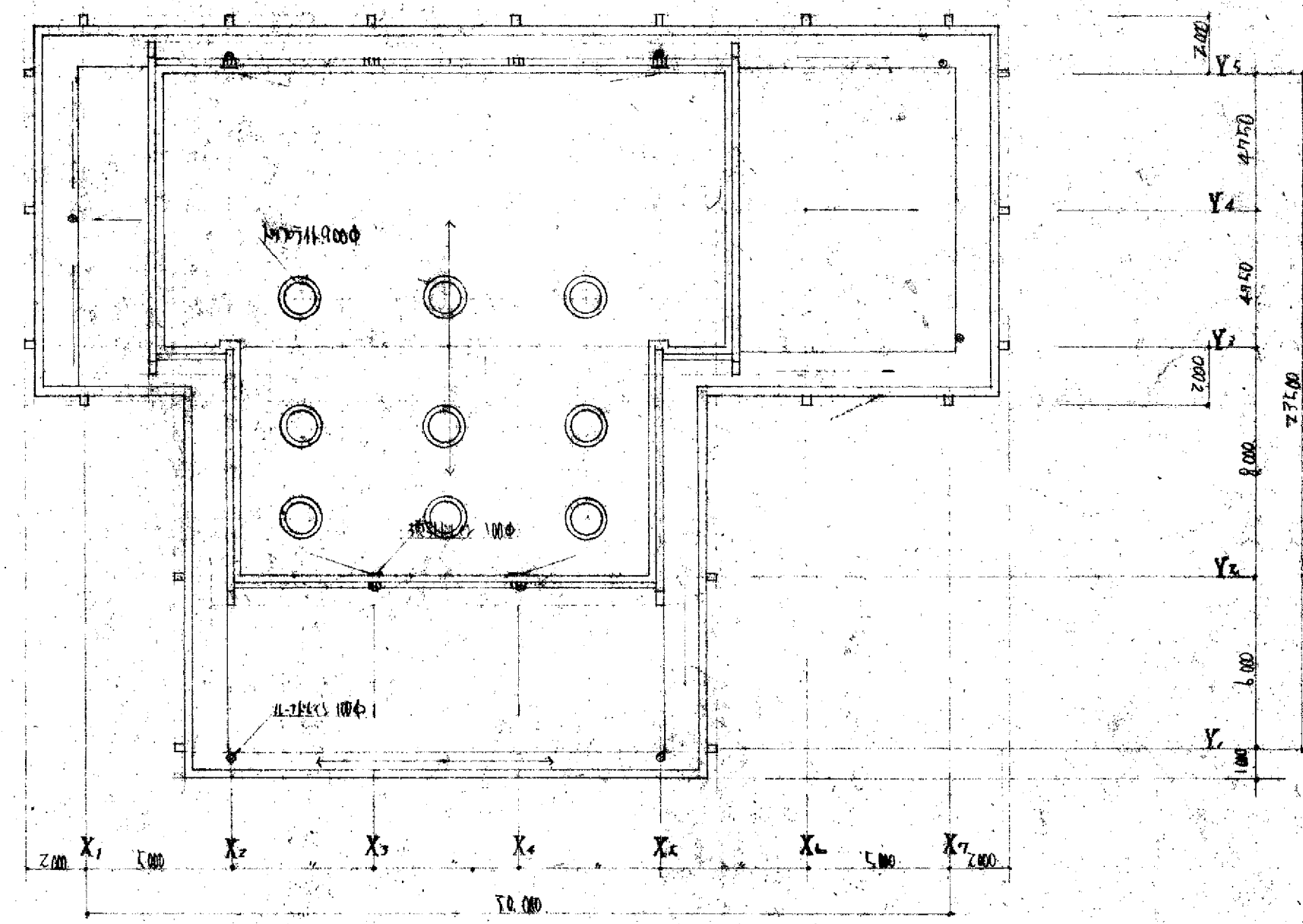
別紙10 岸和田市立斎場図面

仮称岸和田斎場新築工事設計図

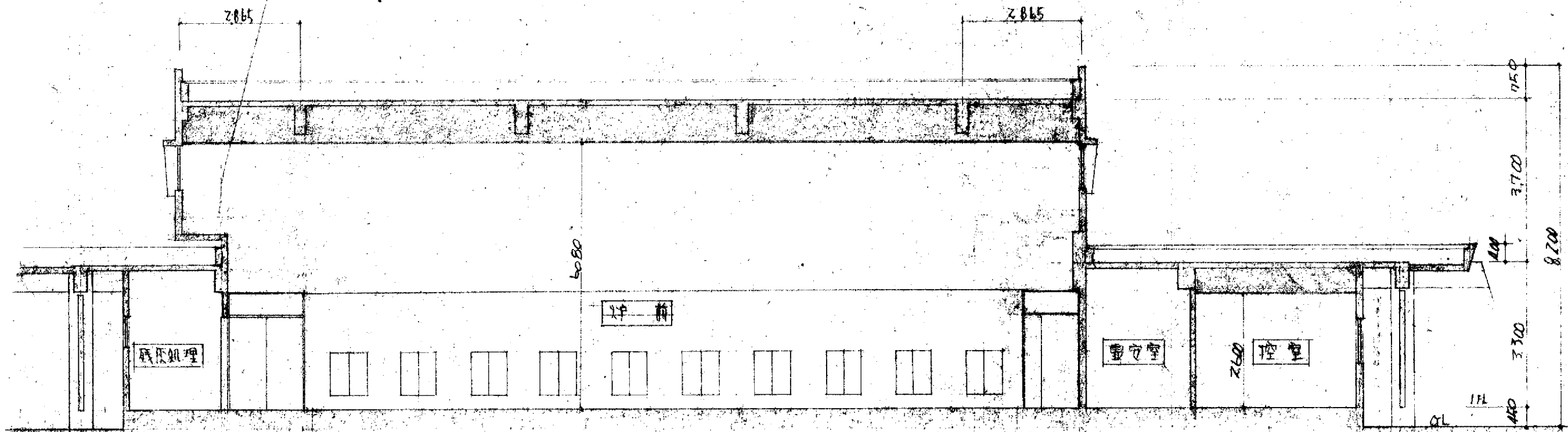
[illegible]



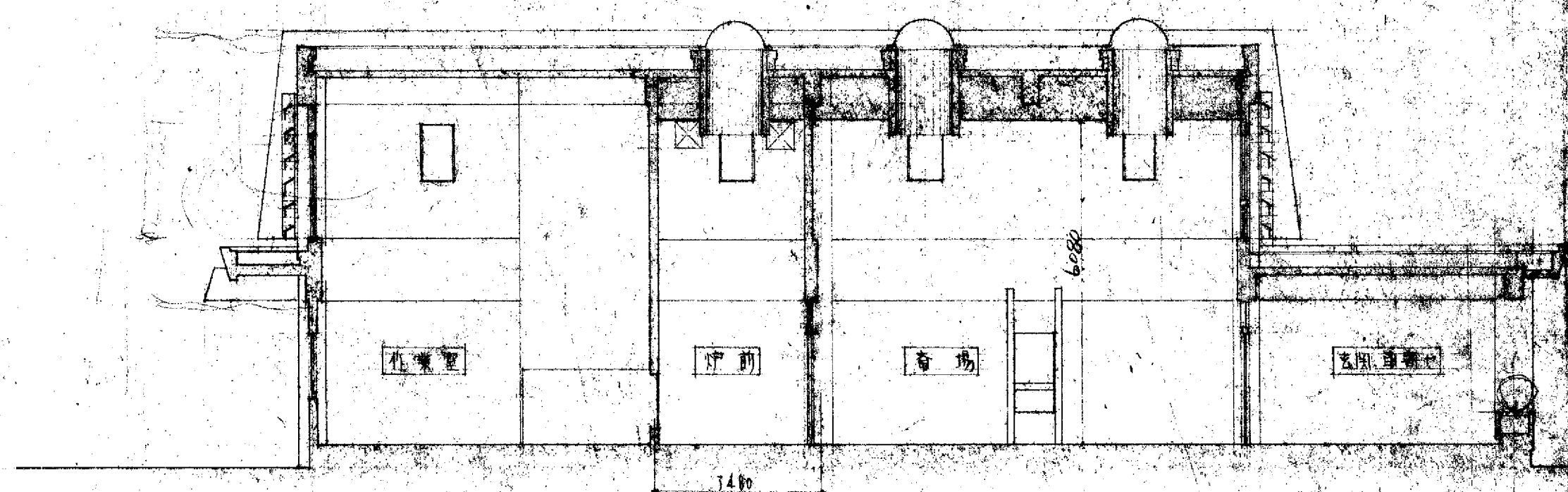
- 凡例
- 鉄筋コンクリート
 - 25mm厚のコンクリート
 - △ 空室型窓枠
 - 土間コンクリート
 - 70mm厚の土間



断面図 SCALE 1:200



X1 ~ X7 断面図

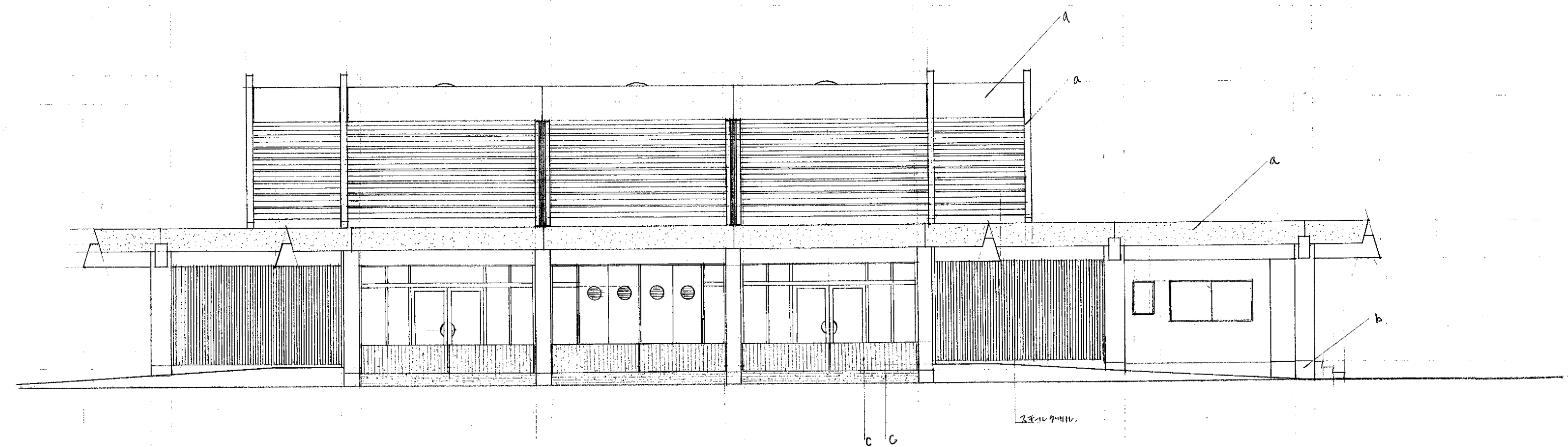


Y1 ~ Y5 断面図

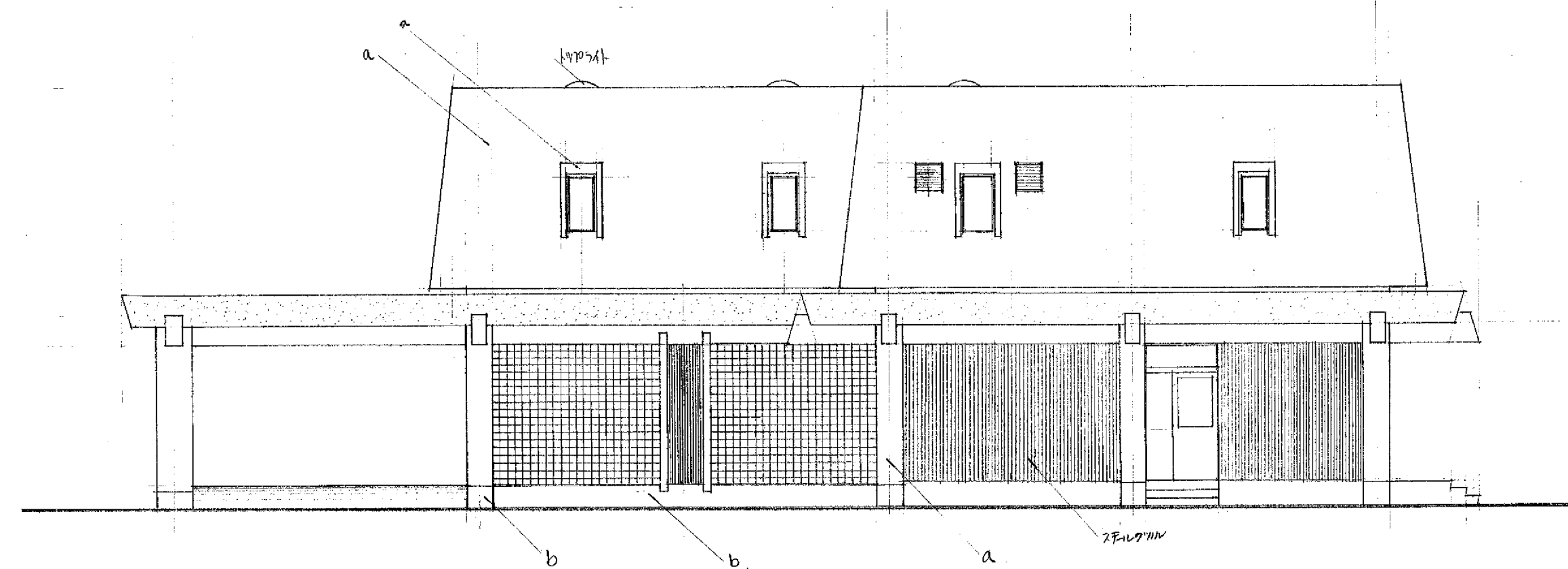


1級建築士 小野吉之助 登録番号 No. 8016

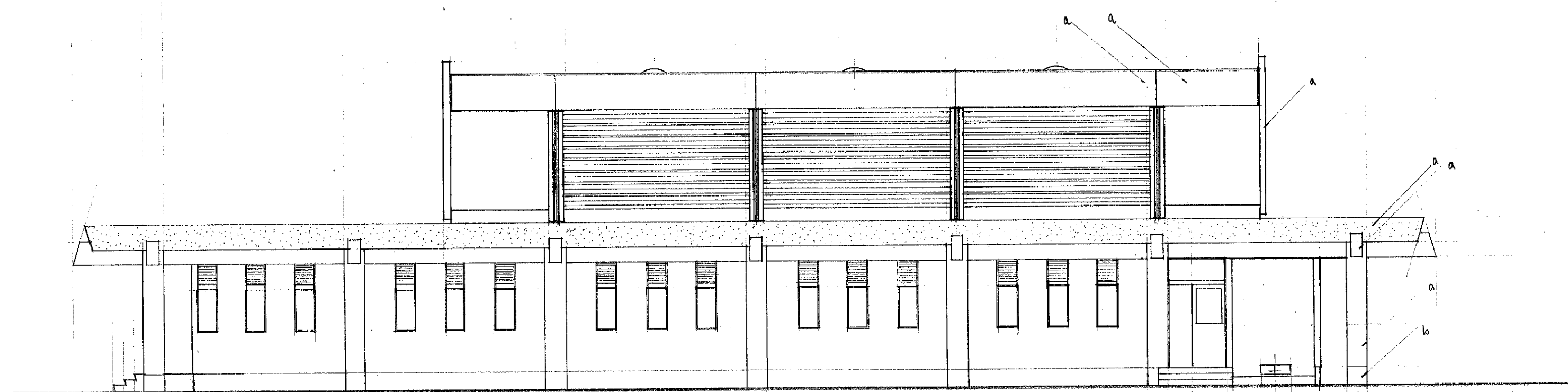
飯沼中務田共振新築大規模修繕
 平面図 断面図 概略図 伏図
 昭和44年9月27日
 株式会社 小河建築設計事務所



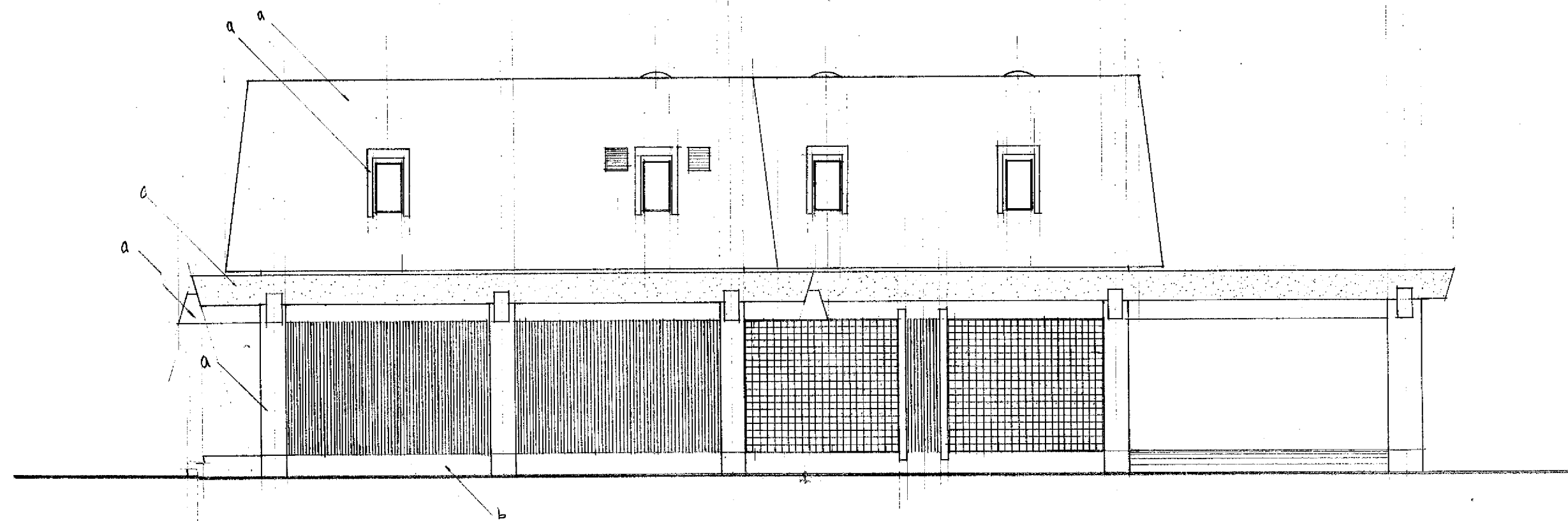
西 立面图



南 立面图



東 立面图



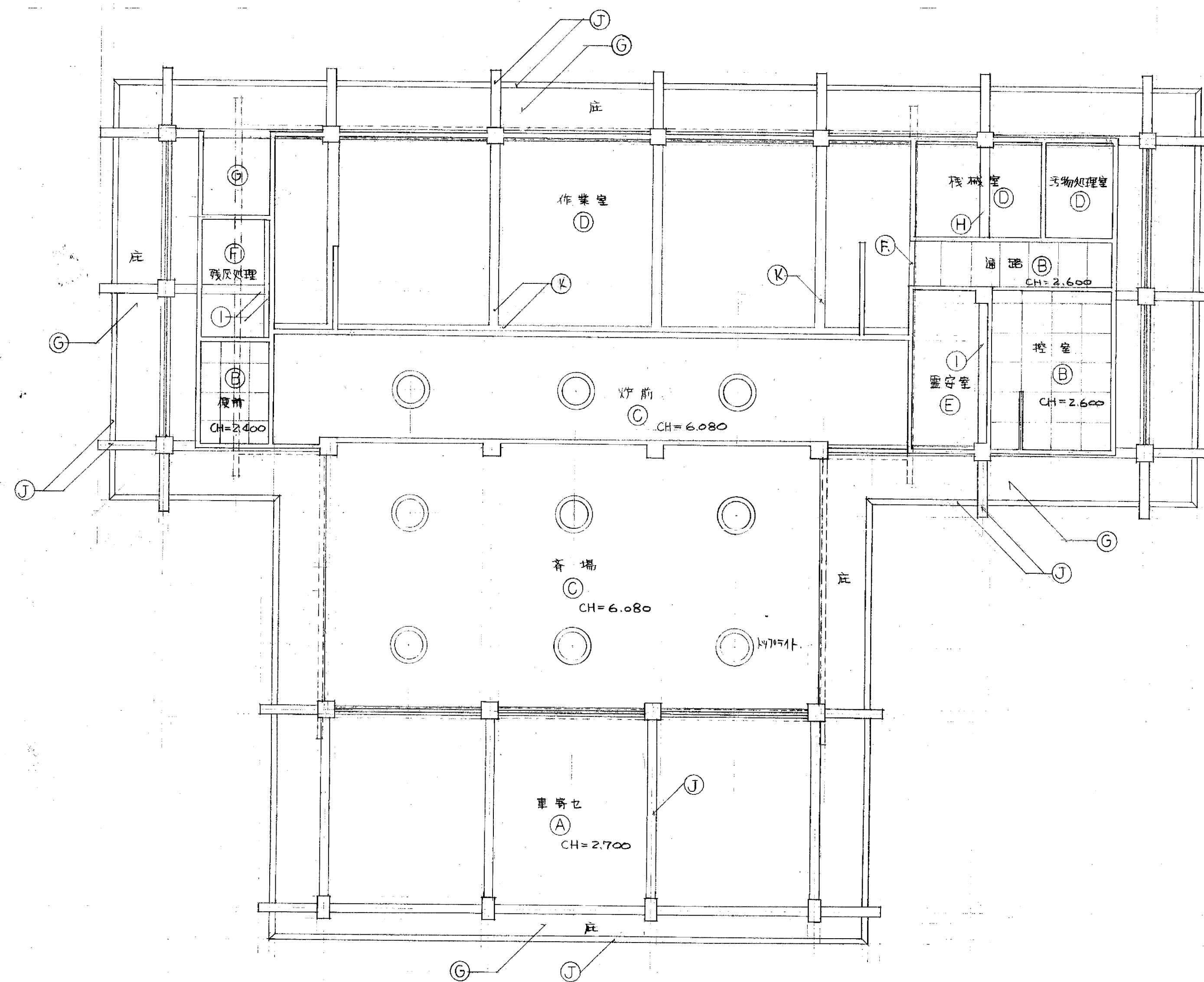
北 立面图

- 凡例
- a ——— 窓枠に用いた木目石入り組立枠
 - b ——— 窓枠
 - c ——— 窓枠に用いた



1級建築士 小河吉之助 登録番号 No. 8016

坂 称 岸 和 田 斉 場 新 築 工 事 設 計 図		NO.
立面图	SCALE 1:100	—107
昭和 44 年 9 月 27 日 昭和 45 年 9 月 27 日の証明		
設計者 546. 19. 11. 日		
株式会社 小河建築設計事務所		

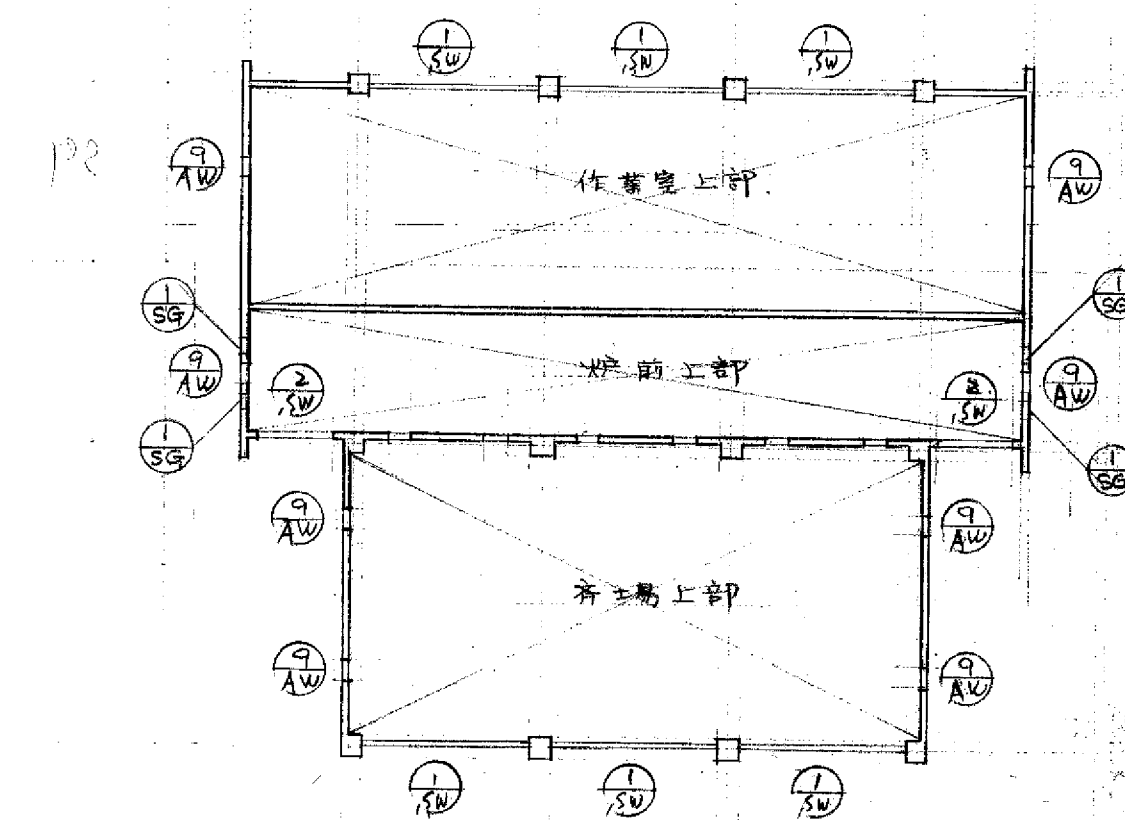


天井伏図

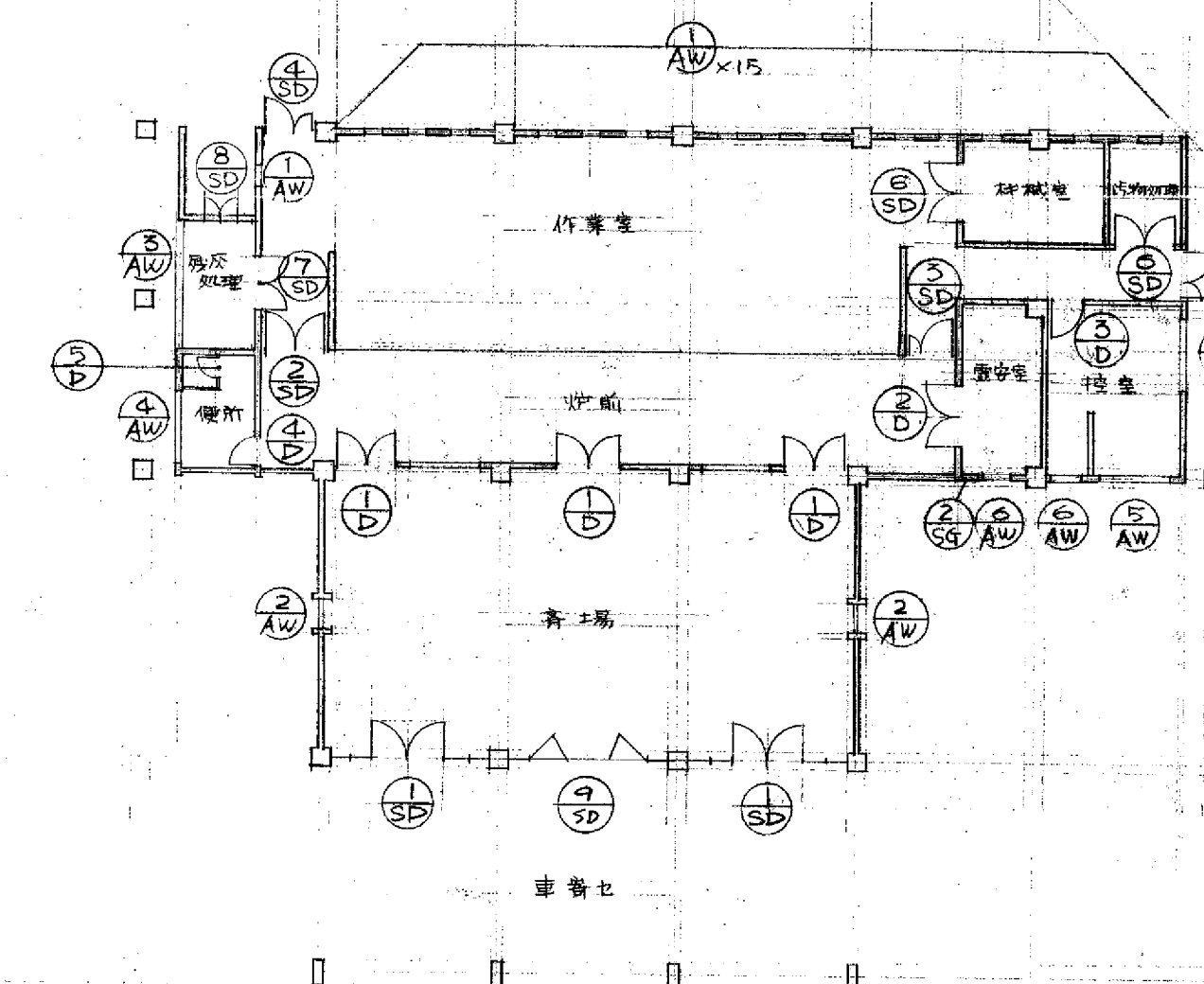
—注— CHは天井高を示す。
奥線は上部吹抜け部分を示す。

凡例

A	モルタル刮毛引 1133 四付
B	石膏板 4mm 厚目目付 Emp
C	有孔アクリルボード 7mm 厚目付 ビールクロス貼
D	木毛板 18mm 厚目付
E	木毛板 18mm リン付
F	モルタル刮毛引 白セメント吹付
G	モルタル刮毛引 白セメント吹付
H	モルタル刮毛引
I	モルタル Emp
J	モルタル刮毛引 黒色石入 1133 四付
K	230mm 厚目付 白セメント吹付



建具案内図



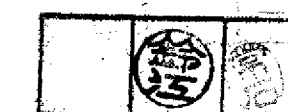
建具案内図

特記事項

凡例

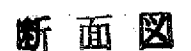
- SD スチール製扉
- AW アルミ製マド
- SG スチール製サッシ
- SW スチール製マド
- D 木製扉

据置は特記を限り全てスチール製サッシ、D型とする。
マドキーは1口(3本)とする。
建具内法は法は現場様す。現寸図作成の上係員の承認を得て製作する。
建具付属金物は全て現寸図又は見本品を提出し現場係員の承認を得る事。



1級建築士 小河吉之助 登録番号 No. 8016

仮称 岸和田 斎場 新築 工事設計図		NO.
天井伏図 建具案内図		—114—
SCALE 1:100	1:200	DESIGN
昭和 44 年 9 月 27 日 昭和 45 年 7 月 27 日 訂正済		
設計者 5.46 1月11日		
株式会社 小河建築設計事務所		



岸和田市立斎場整備工事

図面 NO	図面名称	SCALE	図面 NO	図面名称	SCALE	図面 NO	図面名称	SCALE
101	タイトル 図面リスト		201	オイル配管、冷却水配管 平面図	1:100			
102-7	一般仕様書		202	オイル配管、冷却水配管 平面図 立面図	1:20			
108-9	特記仕様書		203	オイルギャップ廻り配管 平面図 立面図	1:20			
110	フリーシート図		204	既設オイル配管図	1:20 1:40			
111	配置図 附近見取図	1:300	205	地下タンク 詳細図	1:15 1:20			
112	平面図 断面図	1:100	206	幹線及動力配線図	1:100			
113	平面詳細図	1:20						
114	断面詳細図	1:20						
115	汚物炉、再燃焼炉 平面図 断面図	1:20						

竣工図

岸和田市建設部建築工事特記仕様書

I 工事概要

1 工事場所 岸和田市流木町 1092 番地の1

2 工事種目 敷地面積 7,226.44 m²
建築面積 655.50 m²
床面積 561.50 m²
構造概要 別紙添付図参照
工事範囲 別紙添付図参照
別途工事
3 工事期限 契約日より 昭和 60 年 7 月 6 日 まで

II 建築工事仕様

1 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて 建築協会の編纂、建築工事共通仕様書(昭和 年 版)による

2 特記仕様 (1) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。
(2) 特記事項は、○印のついたものを適用する。
○印のない場合は、※印のあるものを適用する。
○印と※印のある場合は、共に適用する。
(3) 特記事項に記載の()内 表示番号は、建築工事共通仕様書の当該項目 当該図又は当該表を示す。

III 一般共通事項

1 適用基準 現場説明、特記仕様書、図面、共通仕様書

2 建築材料等 (市ナカリスト参照) 建築材料の製造所、製品などは市建築課使用材料メーカー表による。
ただし監督員が同等品と認めて承認する場合はこの限りでない。

3 特別な材料の工法 建築工事共通仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の 指定工法による。

4 養生材の処理

5 工事完成図書 (1, 1, 9)
原 竣工図は A1 原図を訂正する建設 A1 竣工図 2 折 1 部
マイクロフィルム (市指定ファイルとする) A3 竣工図 2 折 1 部(建設)
A3 縮小図 (マイクフィルム専用ケース) A3 竣工図 黒表紙製本 2 部(建設)
縮小図はスケールアップ可能なものとする。
竣工原図は訂正後 施工業者の名前及び作成者(市建築課)の捺印を施し市建築課の 承認印を添える。

6 工事写真 区分 分類・規格 撮影枚数 ネガ枚数(1枚につき) 原図の大きさ
着工前 カラー サービス版 監督員の指示による 1 24x36・24x18
工事中 モノクロ サービス版 同上 2 同上
完成時 カラー サービス版 (外観 6枚以上 3 60x70 60x90
(専門家撮影など) (内観見込 2枚以上 3 同上
完成時 カラー サービス版(内観見込) 1 60x70 60x90

7 完成時カラーパネル 第 1 章、5 項 6 項 7 項は、監督員に提出する(ネガ共)
・工事用アルバムに名称、撮影年月日 記入整備の上原図(ネガ)共提出のこと。
・工事中は 月 2 回工事報告書、工程表を監督員に提出する。
・工事中モノクロ・サービス版整理アルバムの詳細は監督員指示とする。
・建築課が行い監督員を通じて指示する。
8 色彩の指定 現状地盤として監督員の指示による。 図示による。
9 設計 G.I.

10 設備工事との取合 第 22 章、1 項 施工範囲工事正分表による。
・図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔・開口部の型枠、スリフ及びそれらの補強図示 した壁・天井の仕上材・下地の切込み及び下地の補強

2 仮設工事

① 市監督員事務所 ・ A 号 (40 m²) ・ B 号 (70 m²) ・ C 号 (100 m²) ・ 別図による。
・ 設けない

② 工事用水 構内既存の施設 ○利用できる(有償※無償) 利用できない

3 土工事

1 埋戻し及び土留の種別 (3, 2, 3)
2 残土処分 構外搬出適切な処理 構内指示の場所に敷きならし
3 地耐力試験 方法 平板載荷試験 < > 箇所
地盤深さ < >
最大荷重(七) < >

4 地業工事

1 くい種別 杭 φ 〇= m 試験杭 m 本 (4, 2, 1)
材令, 28 日以上 (オートクレーブの場合 7 日以上) メーカー:
2 くいの種類 溶接継手 (4, 2, 3)
3 くい施工法 砕石 打撃工法・圧入工法・振動工法 その他 < >
4 アレオグー工法 フレキシブル工法
5 アレオグー・バット工法 中環工法 (4, 2, 2)
6 セメントミルク注入工法 ジェット工法
4 載荷試験 MAX TON 反力式 鉛直式載荷試験
5 土間シート ポリエチレンシート敷き厚さ 0.1 mm 以上とし 重ね寸法は 100 mm 以上とする。
メーカー:
6 土間シート下の締固め ()

5 鉄筋工事

1 鉄筋の種別 種 別 直径 (mm)
※ 異形鉄筋 ※ SD 30
SD 35
丸 鋼 ※ A 種 SR24 SRR24
B 種 無規格品を JIS G3112 による試験合格品

2 鉄筋のかぶり厚 施工箇所 鉄筋標準図の値に加える寸法 (mm)
塩分を含む骨材を使用する場合 (6 章、5 項区分Ⅱ及びⅢの場合ただし柱のみ 区分Ⅰの場合を含む) ※ 10 (床版を除く)

3 帯 (フープ) 筋 (スカラー、フープ)

4 貫通孔及び開口の補強 梁・壁・床の貫通孔及び開口は仕上表による
梁の補強は、構造関係共通事項による。
(5, 2, 38 図) ・ A 形 ・ B 形 ・ その他

5 土間コンクリートの補強

6 コンクリート工事

1 レンガ・ミッドコンクリートの補強 ※ JIS 表示工場品 (6, 1, 1 表)
2 混和材料 ※ AE 剤又は AE 減水剤標準形 ・ フライアッシュ (6, 2, 4)
・ AE 剤 ターレックス AEA ヴィンゾール
・ AE 減水剤 A 種 サンコロ-S プラスクリート、ボゾリス N5L、ボゾリス N670、パルマ SSS
B 種 ターレックス WRDA、チューボール C

3 コンクリートの設計基準強度

4 配合計画

5 塩分を含む骨材による区分

6 粘土塊を含む骨材による区分

7 テストピース採取

8 型枠存置期間

9 防水コンクリートの種別

10 コンクリート打放し仕上げのせき板の種別

7 鉄骨工事

1 鋼材の材質 (7, 2, 1) に合格するもの(一級鋼を原則) ・ JIS 規格品 (9, 310 鋼)
2 高力ボルト ボルトの種別 特殊高力ボルト (TC ボルト PI ナットつきビルテン) TS ボルト 神谷鋼材コンボルト
※ JIS の高力ボルト (7, 4)
3 鉄骨加工業者 セットの種類 ※ 1 種 ・ 2 種 ・ 3 種
※ 監督員の承認する業者

8 フロックス工法

1 補強コンクリートブロック 帳壁及び隅 A 種 ・ B 種 ・ C 種 ・ (補強) (8, 1)
・ 耐力壁 (JIS 規格品) ・ B 種 ・ C 種 (8, 2)
近畿東海北陸コンクリートブロック工業組合の製品又は JIS 表示許可工場製品とする。
(8, 5) JIS A 5416 の規格品 (メーカー:
2 ALC パネル

9 防水工事

1 アスファルト防水 (9, 1, 1) 15 年保証 10 年保証
種 別
・ 保護防水 ※ 9, 1, 1 表 (A-1, B-1) ・ 9, 1, 2 表 (B-1, B-2)
・ 露出防水 ※ 9, 1, 3 表 (C-1, C-2) ・ 9, 1, 4 表 (D-1, D-2)
・ 屋内防水 ※ 9, 1, 5 表 (E-1, E-2)
・ 施工業者: 日本アスファルト防水工業協同組合 東亜アスファルト防水工業協同組合
東亜アスファルト工業協同組合 近畿防水
各 2 通 (シリングを除く) 提出すること。
保証 5 年 10 年 15 年, 厚さ 1.0 1.2 1.5 2.0 2.5
責任施工とし保証年限は 5 年とする。
メーカー:
有線系 ウレタン防水 (10 年保証) ノンロー:
ポリサルファイト ※ シリコーン系 ・ アクリル系
メーカー:

2 保証書

3 合成高圧ポリエチレン防水

4 モルタル防水

5 塗膜防水

6 ユーキング (シリコン系参照)

10 石工事

1 テラゾブロック 見本品提出の上決定する(種別の種類) 本廠仕上げとする。
メーカー:
2 取付金物 ステンレス製 ・ シンチュー製

11 タイル工事

1 陶磁器質タイル (11, 1)
2 工 法 目地割リ及び伸縮目地、圧着工法とする (11, 1, 3)
3 接着剤試験 行う ・ 行わない (11, 1, 4)
メーカー:

12 木工事

1 材料の種別 造作材の等級 図示及び共通仕様書に記載なき部材は JASS により B 種とする (12, 1, 2 表)

2 木材の防虫処理

3 木材の防虫処理

竣工図 岸和田市 建築課承認 課長 補佐 係長 係員

工事名称 岸和田市立斎場整備工事 設計事務所名 印 施工業者名 印 図番名称 仕様書 図面番号 102

13 屋根工事 1 長尺亜鉛鉄板 2 波形石綿スレート 3 ルーフドレン 4 耐酸金属 5 とい 6 とい掃除口 7 塩ビ波板

14 金属工事 1 防錆 2 ノンスリップ 3 ステンレス 4 軽鉄下地 5 タラップ 6 天井点検口 7 床改め口 8 マンホール 9 アルミ製ルーバー 10 カーテンレール 11 グレーティング 12 防護欄(窓付) 13 ネットフェンス 14 鋼製床組 15 アルミスパンドル

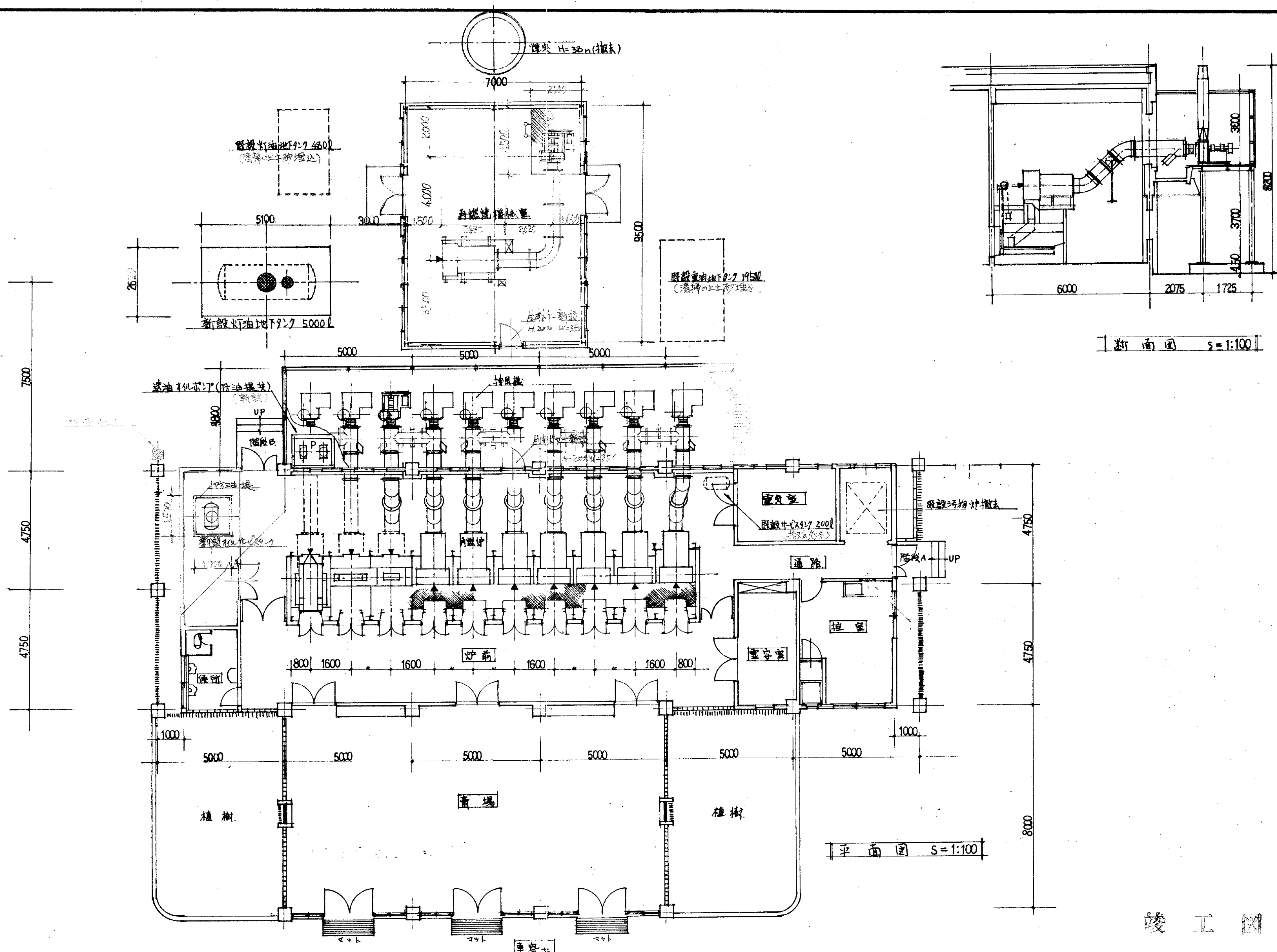
15 左官工事 1 防水剤 2 上塗りモルタルの混和材 3 モルタルの保水剤 4 合成樹脂エマルジョン 5 複層模様吹付材 6 タル状吹付材 7 ひる石吹付 8 パーライト吹付 9 吹付仕上の下地 10 目地

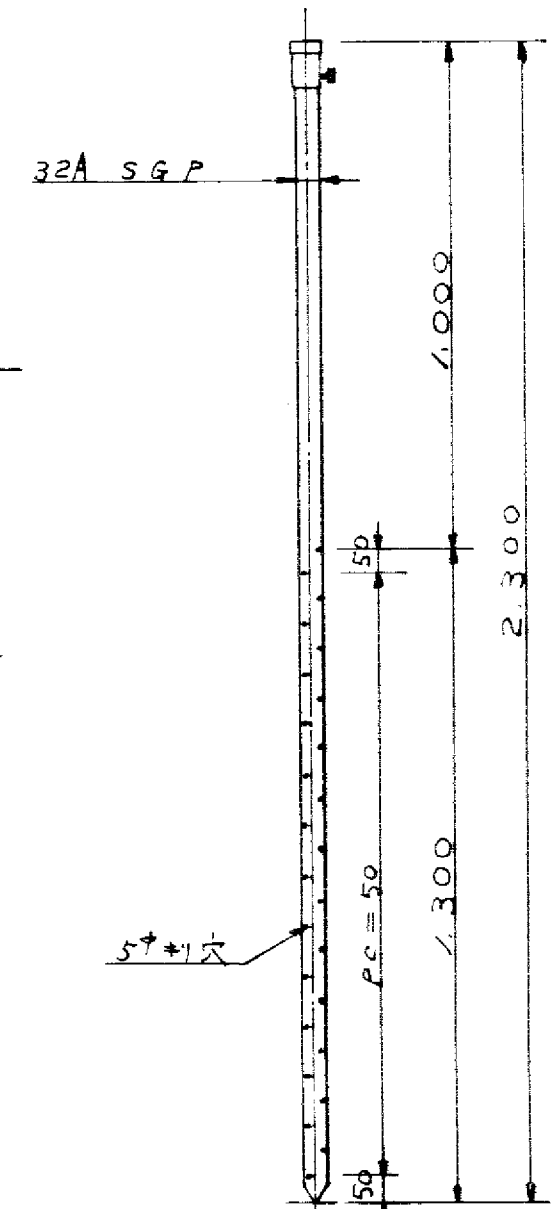
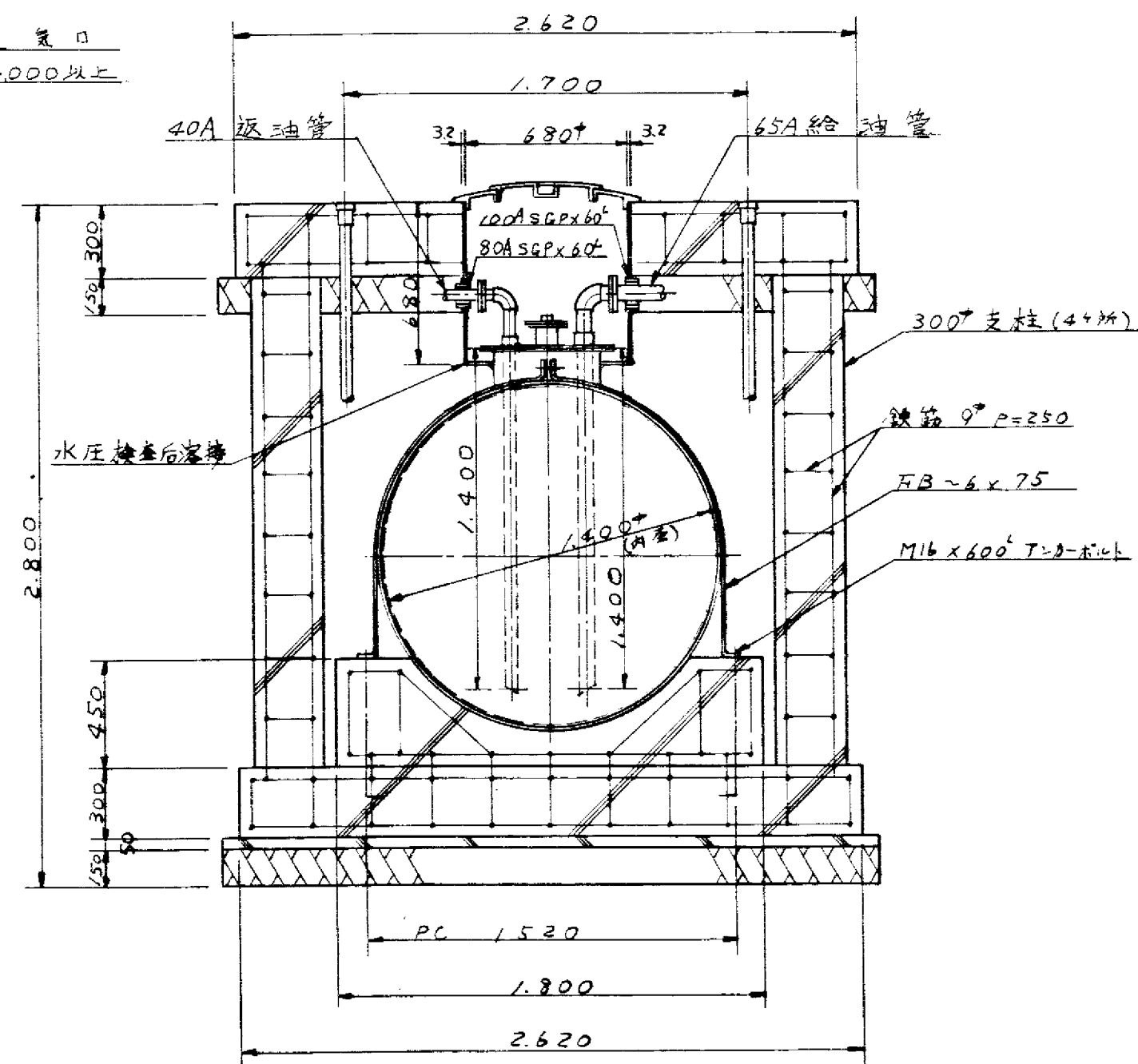
16 建具工事 1 アルミウレタン製建具 2 鋼製建具 3 ステンレス製建具 4 鋼製巻込シャッター 5 軽量シャッター 6 建具用金物 7 自動とびら 8 鍵錠 9 網戸 10 網入りガラス 11 木製建具

17 塗装工事 1 一般塗料・製造所 2 塗装業者 3 床用塗料 4 防火材料 5 素地処理の種別 6 鉄部びり塗料 7 鋼管外装塗料

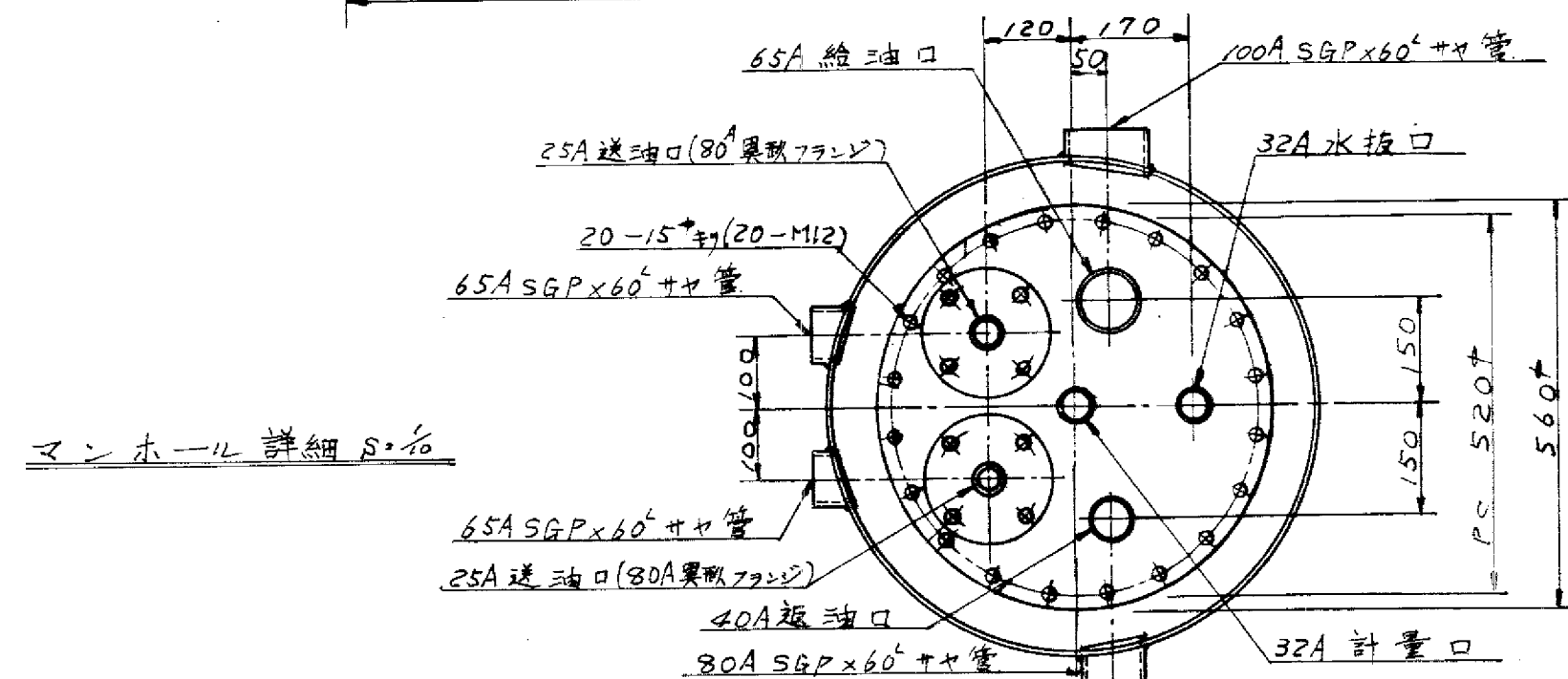
18 内装工事 1 ビール床シート 2 ビール幅木 3 ビール床タイル 4 合成樹脂塗り床 5 既製間仕切 6 セッコボード 7 岩綿吸音材 8 合板類の張付種別 9 フローリングボード 10 天然木化粧複合フローリング 11 フローリングロック 12 モザイクパーケット 13 壁紙張り 14 畳敷き 15 ショウタン敷き

19 竣工図

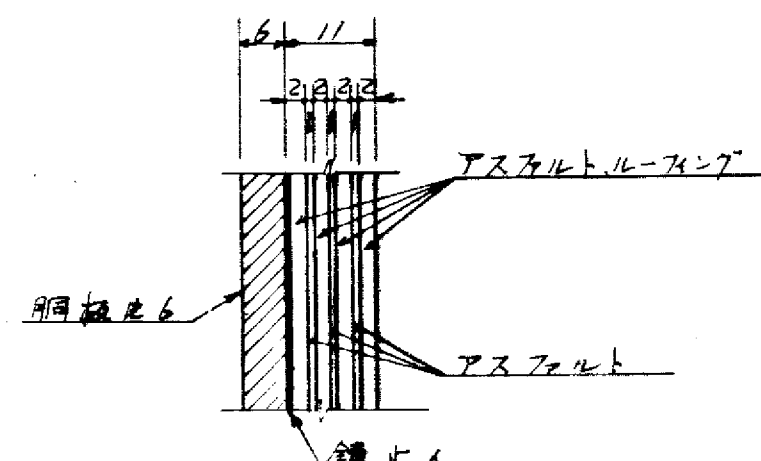




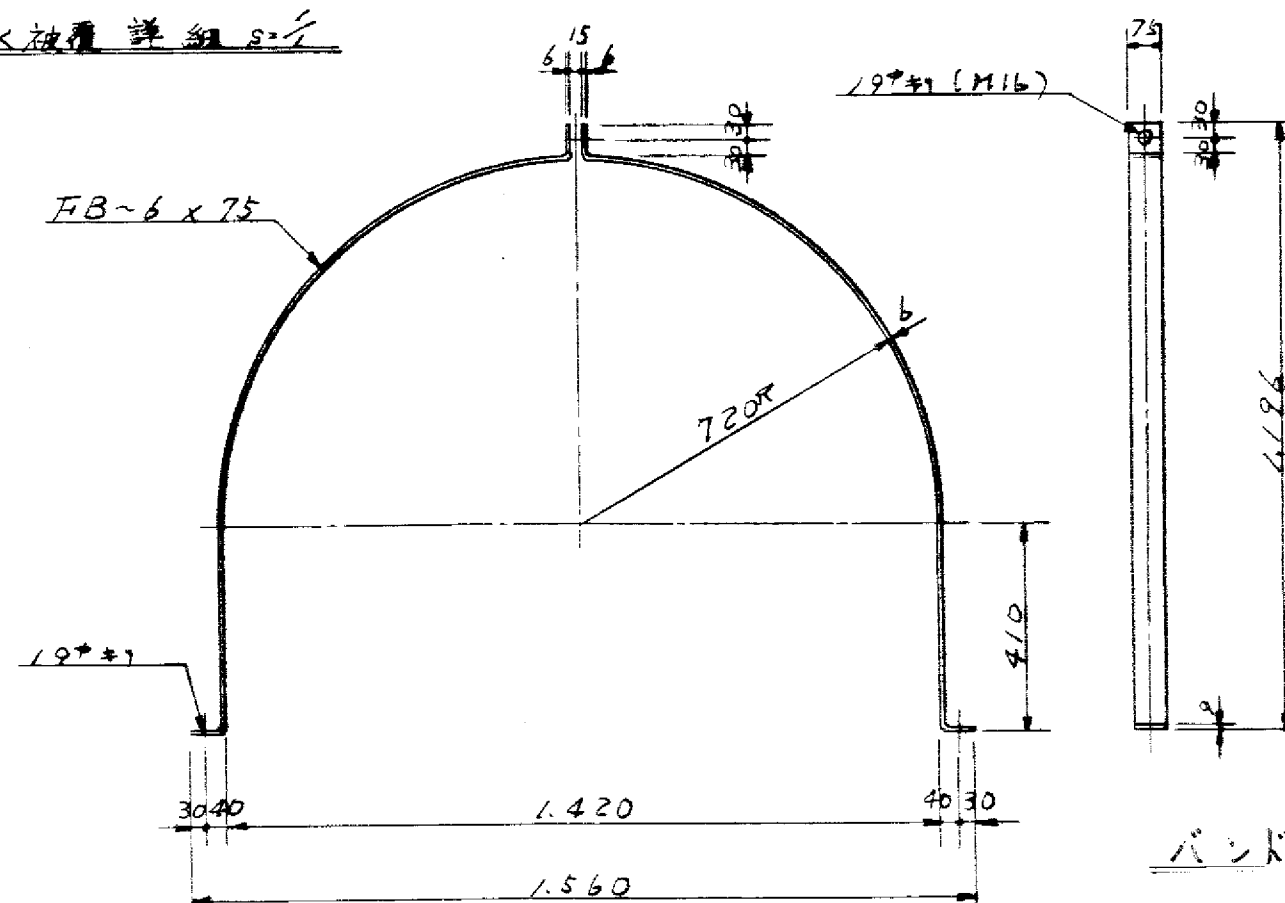
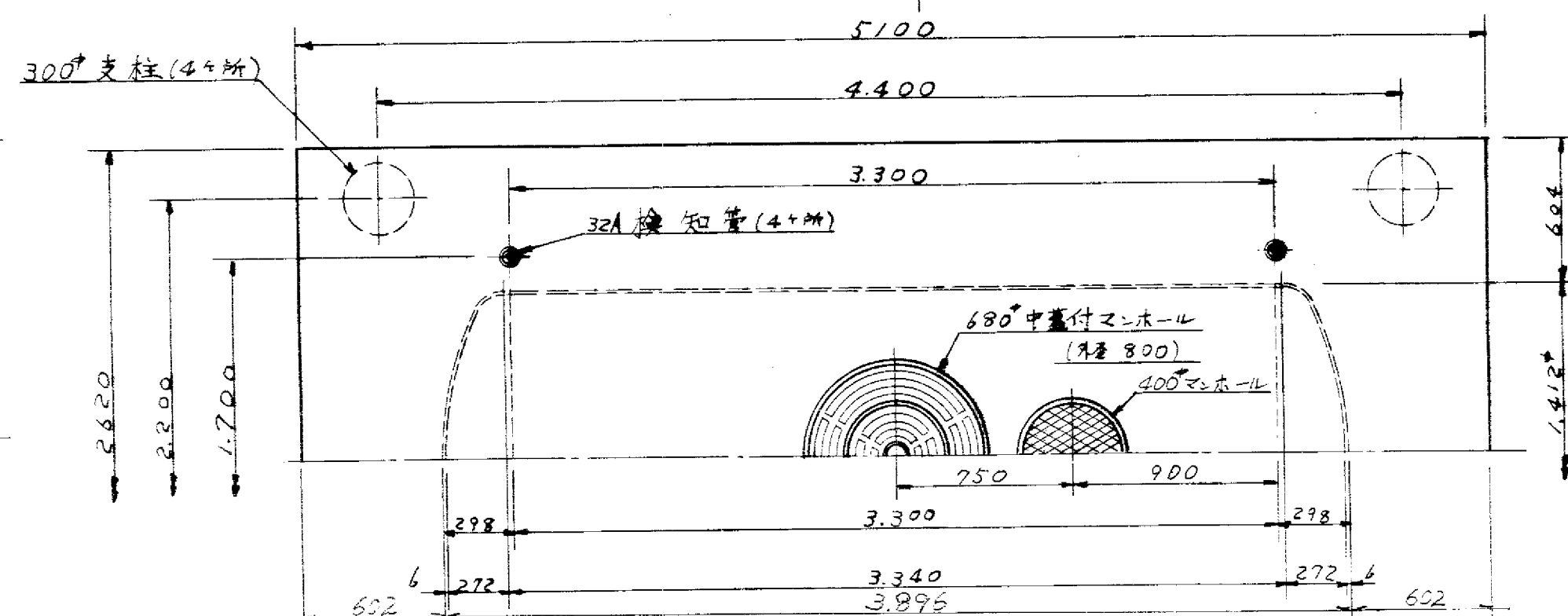
換知管詳細 $S = \frac{1}{2}$



マインホール 詳細 5.10



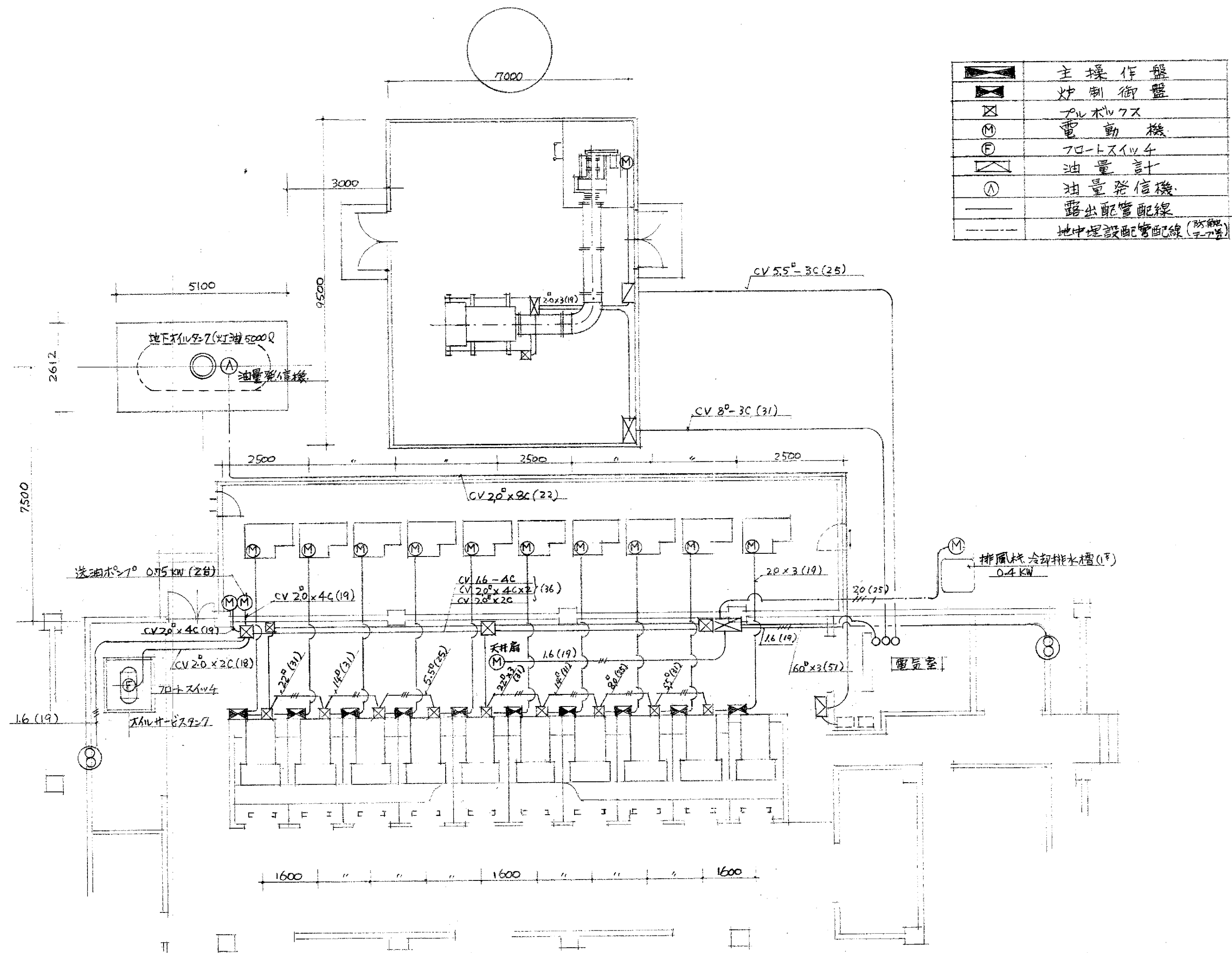
防水被覆詳組 $S = \frac{1}{2}$



バンド詳細図 $S=1/15$ 竣工

容 量 計 算	
全 容 積	$0.7^2 \times 3.14 = 1.5386 \text{ m}^2$ $1.5386 \times (3.34 + \frac{0.272 + 0.272}{2}) =$ $5.41792 \approx 5.418 \text{ m}^3$
空 間 容 積	$5.418 - 5.000 = 0.418$ $\frac{0.418}{5.418} = 0.07715$ $\approx 8\%$
實 容 量	$5.000^2 = 5.0^2$ $\frac{5.0}{5.418} = 0.92284$ $\approx 92\%$

4	712779-	*		1232
3	マンホー	*		129
2	鏡板	*		126
1	桐板	SS-41		126
番号	品名	材質	所要数	滴
名	1400 * x 3.300			5000 ⁸
床	地下 7-7 詳細図			



幹線及動力配線図 S-1:100

竣工図

工事名称

岸和田市立斎場整備工事

図番名称

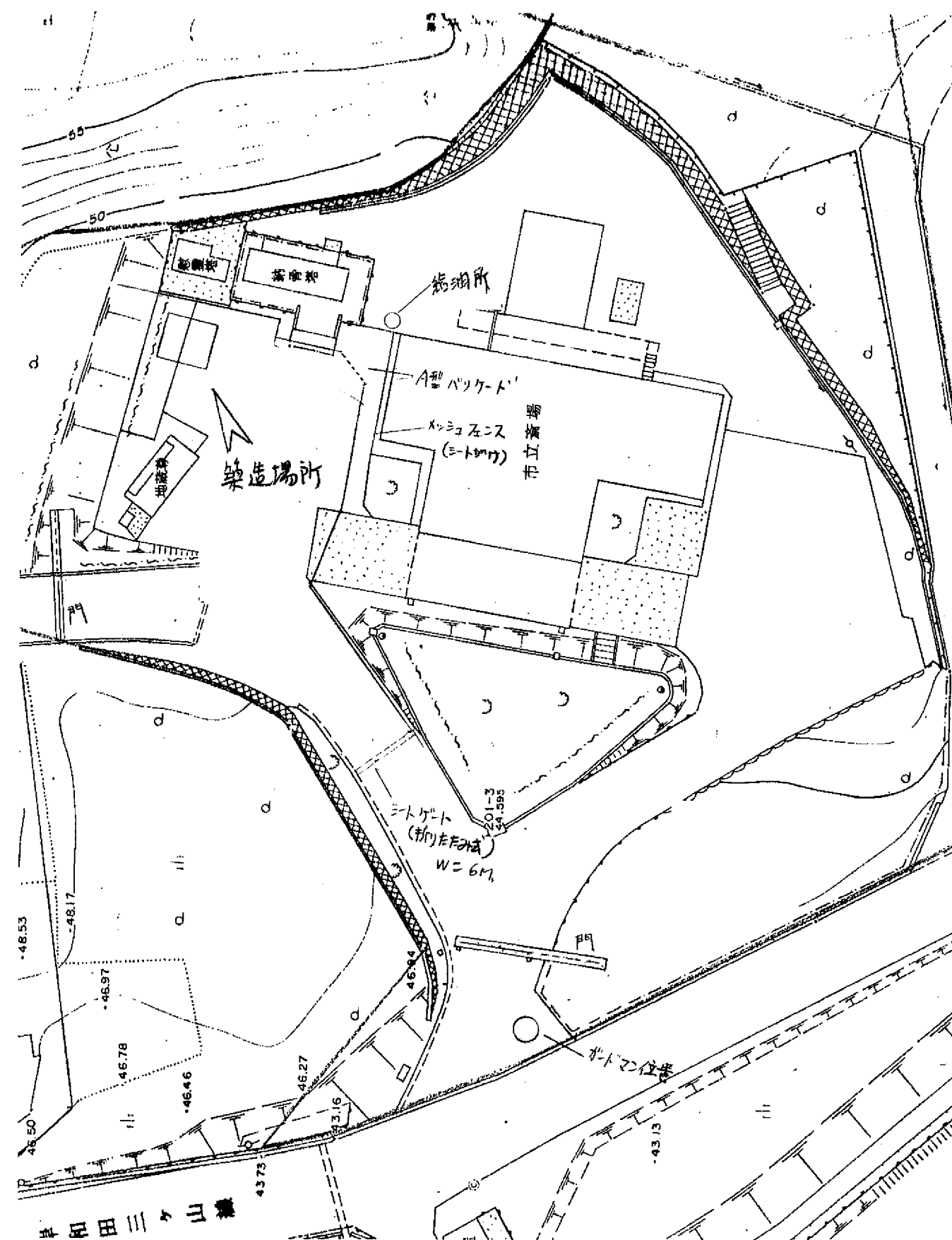
幹線及動力配線図

縮尺

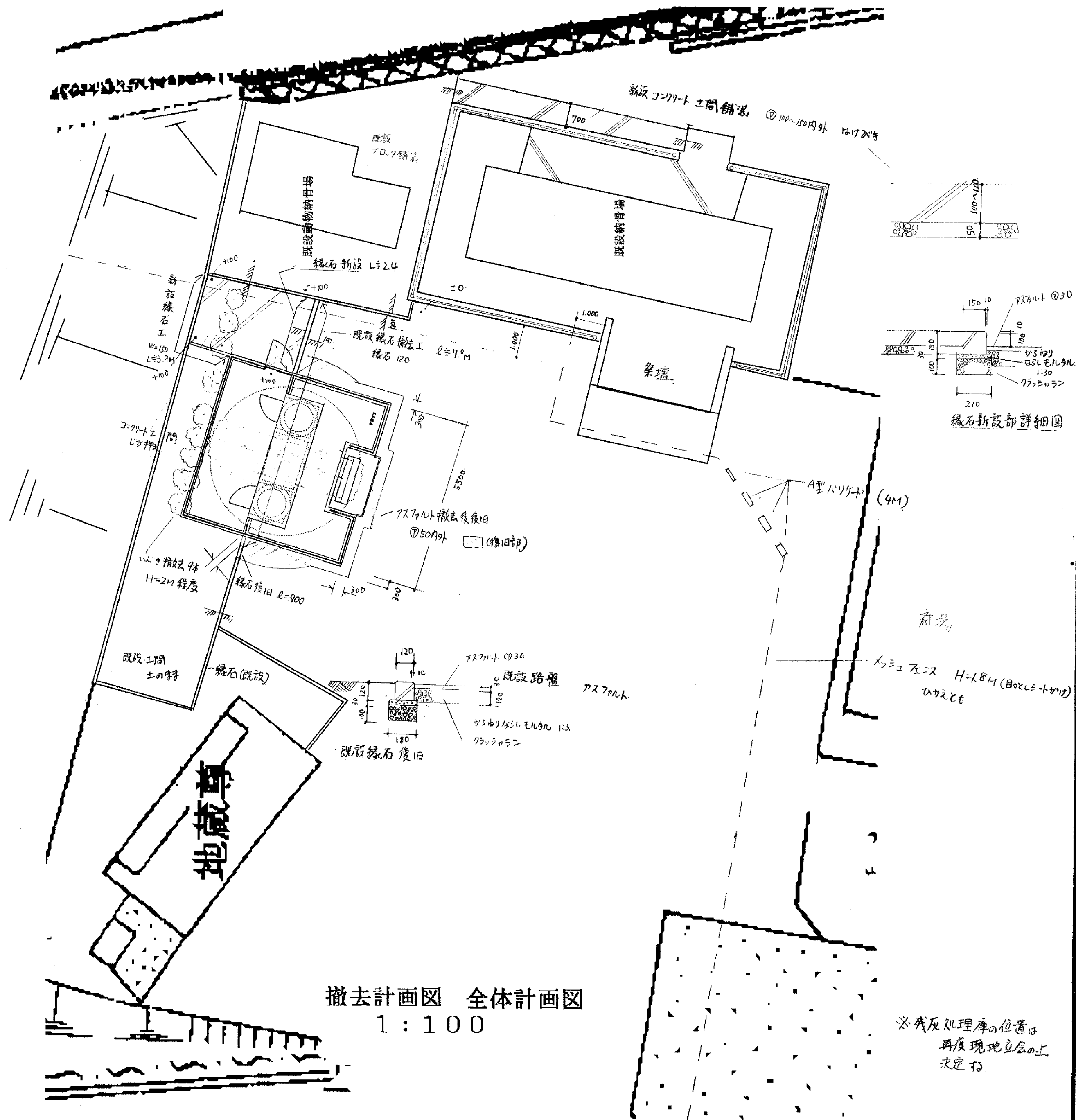
1:100

年月日

206

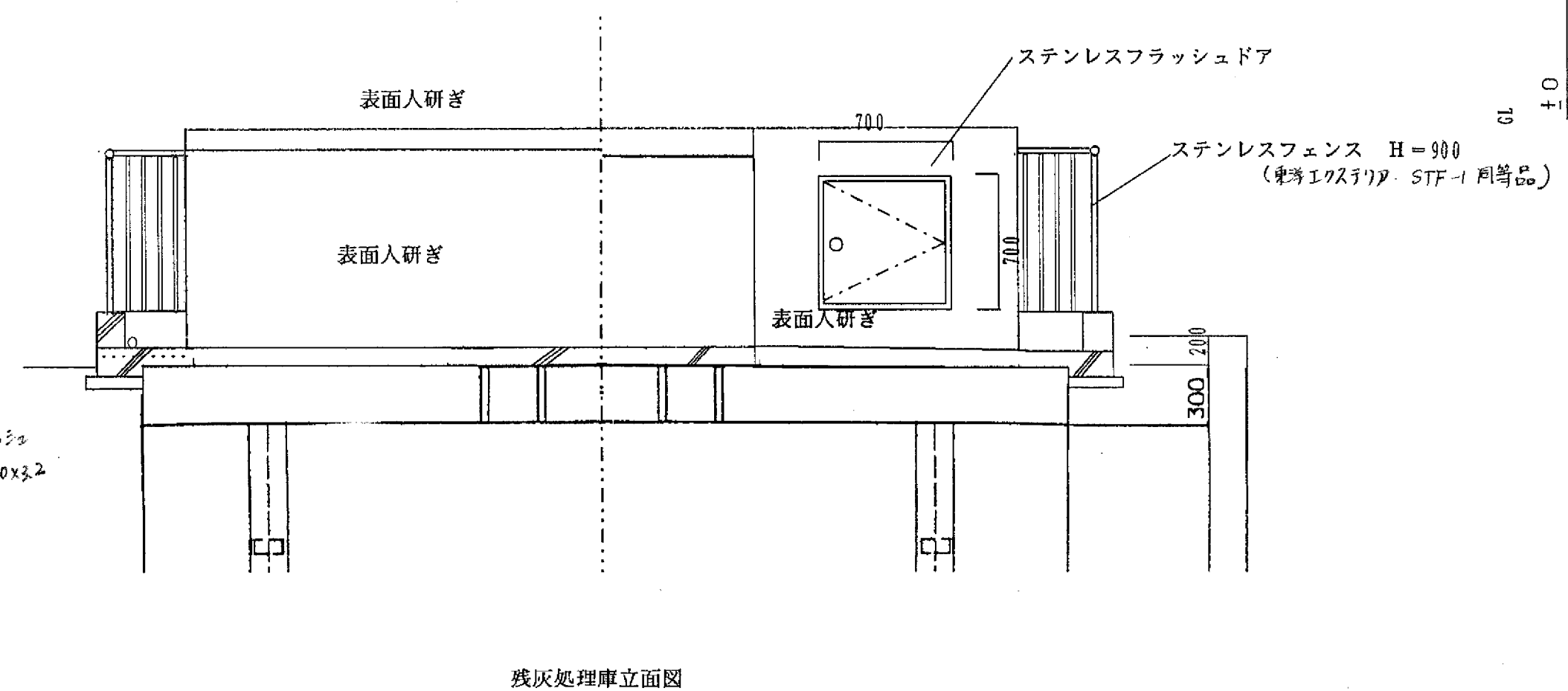
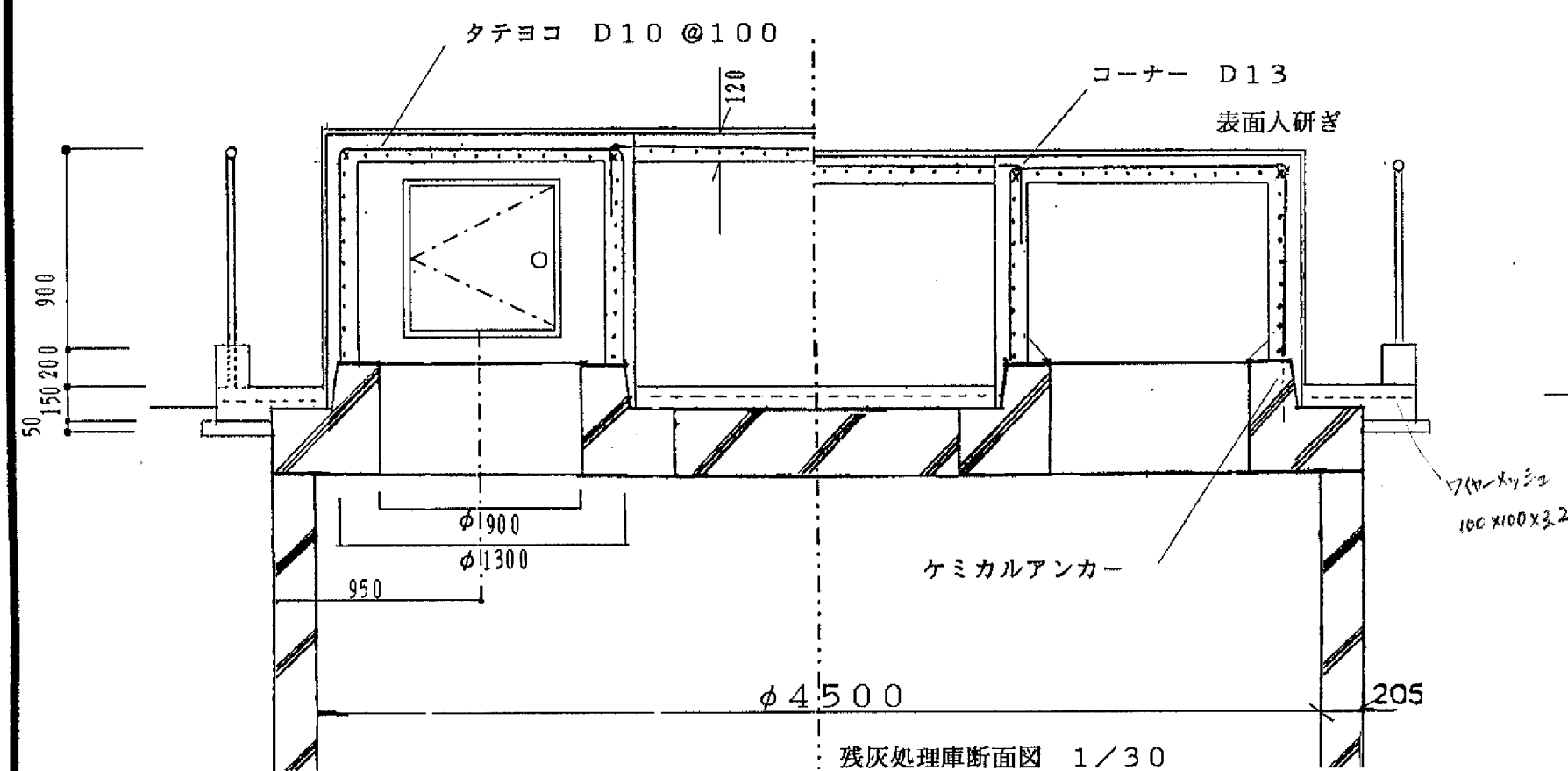
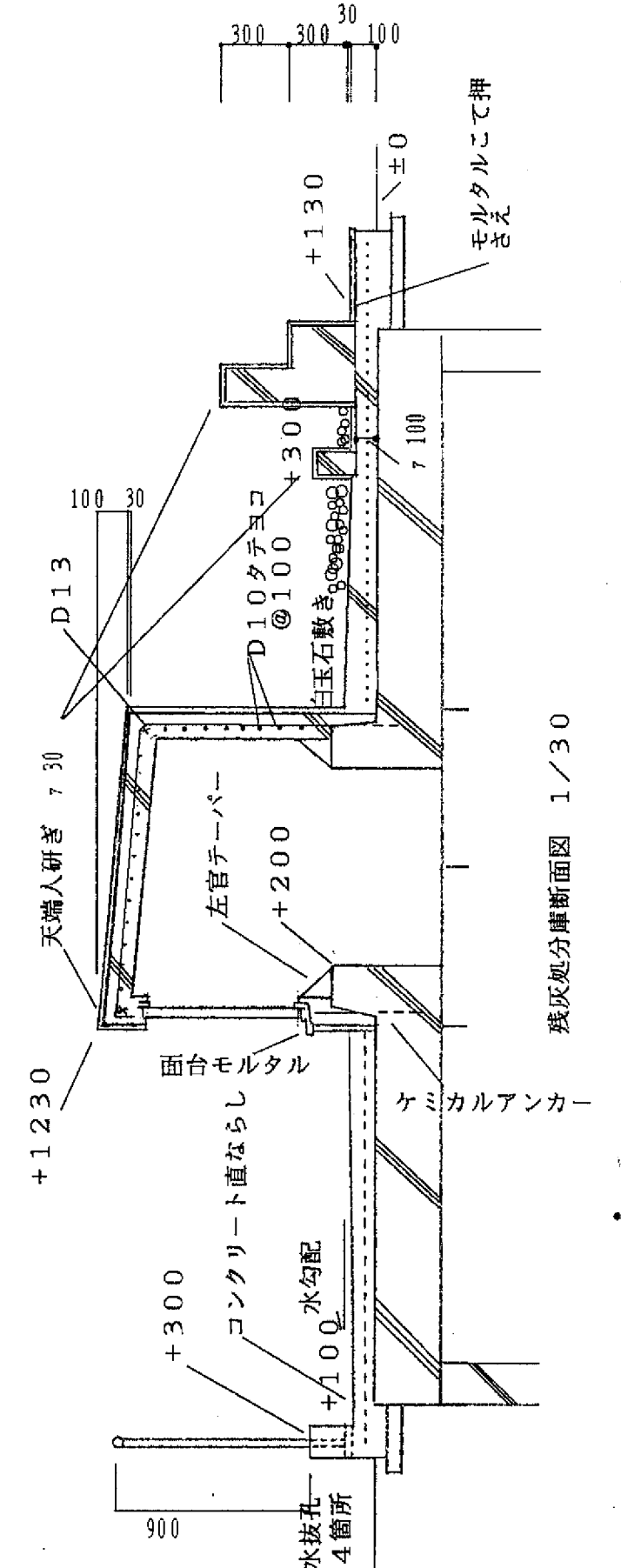
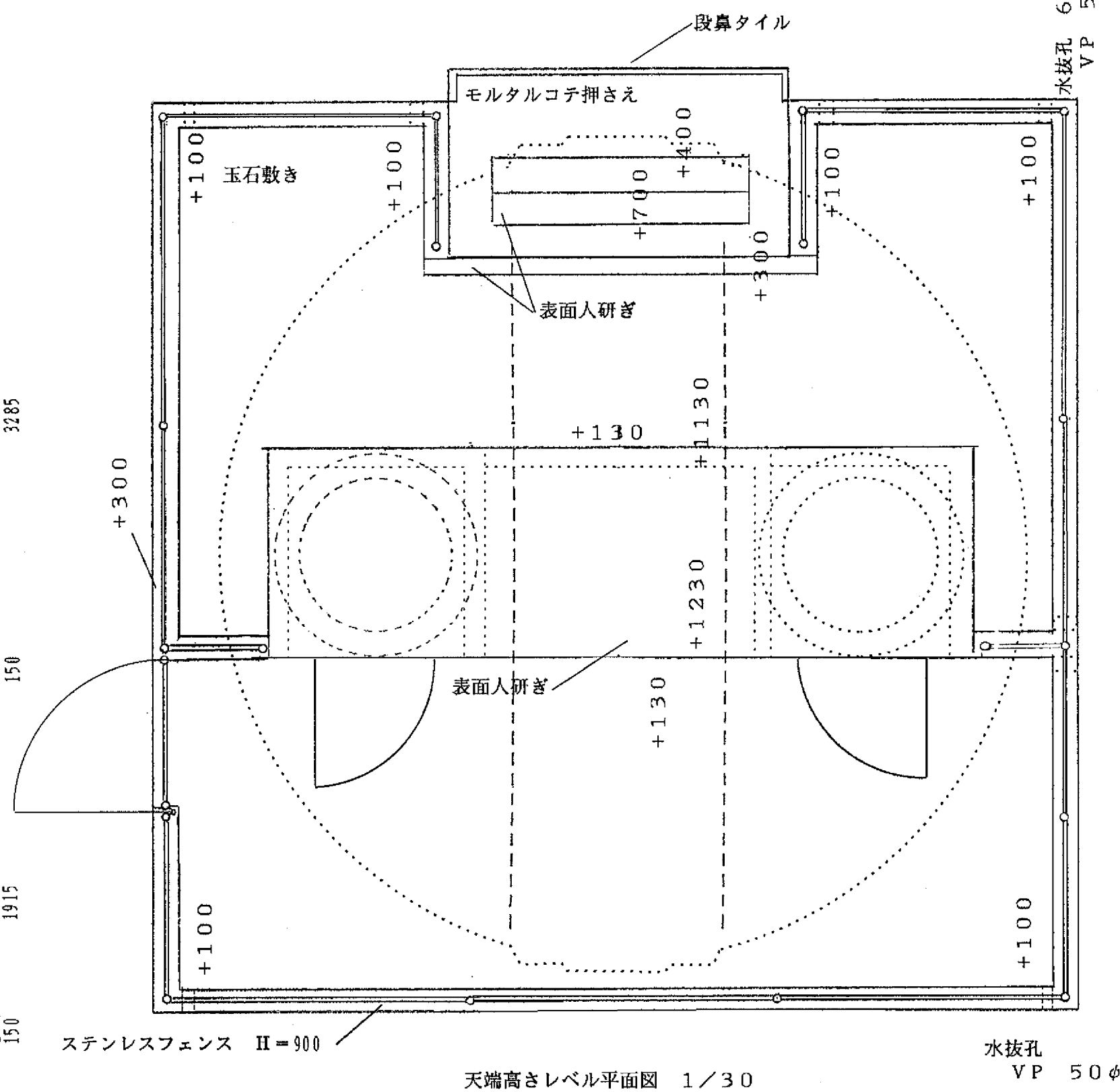
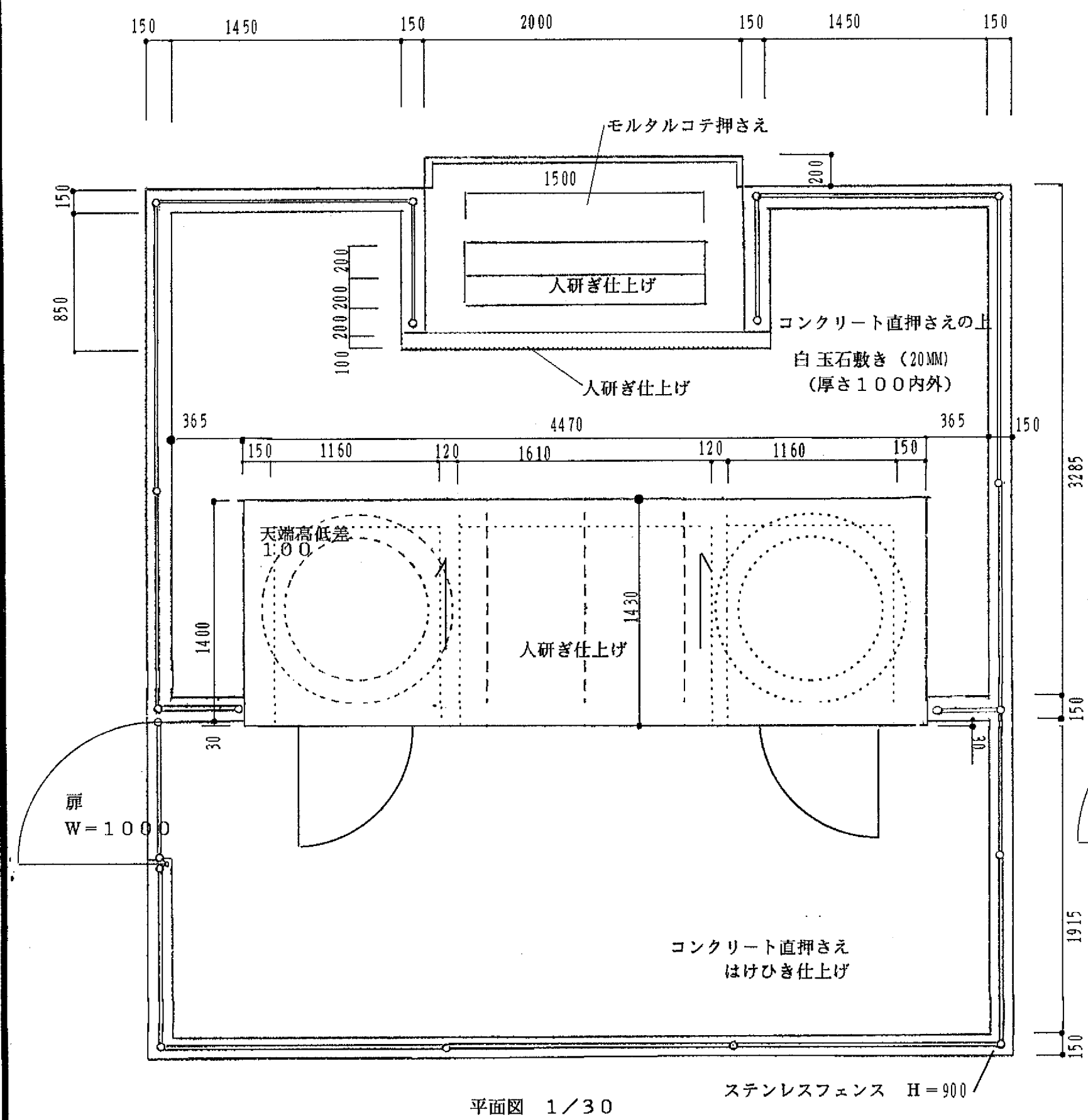


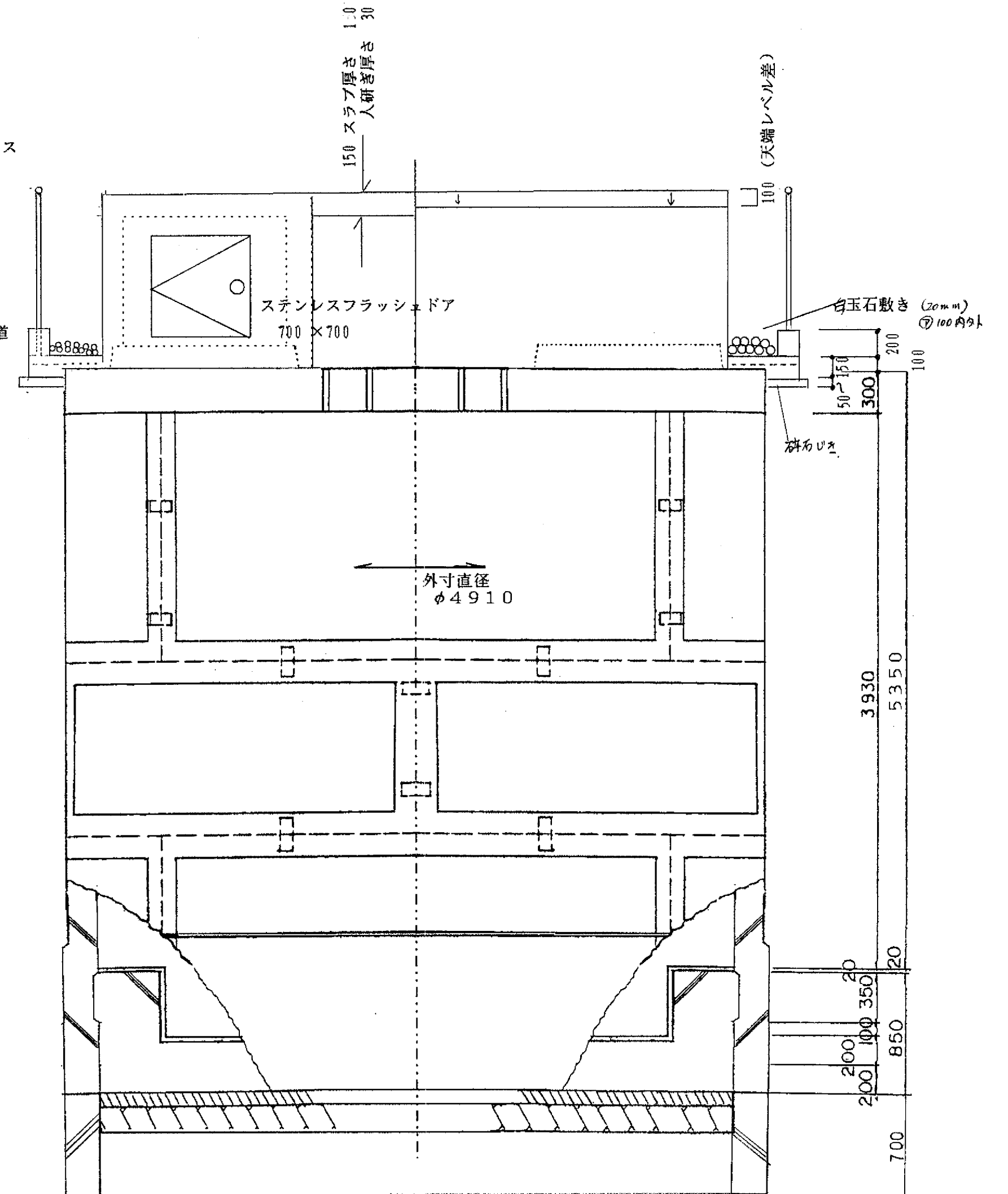
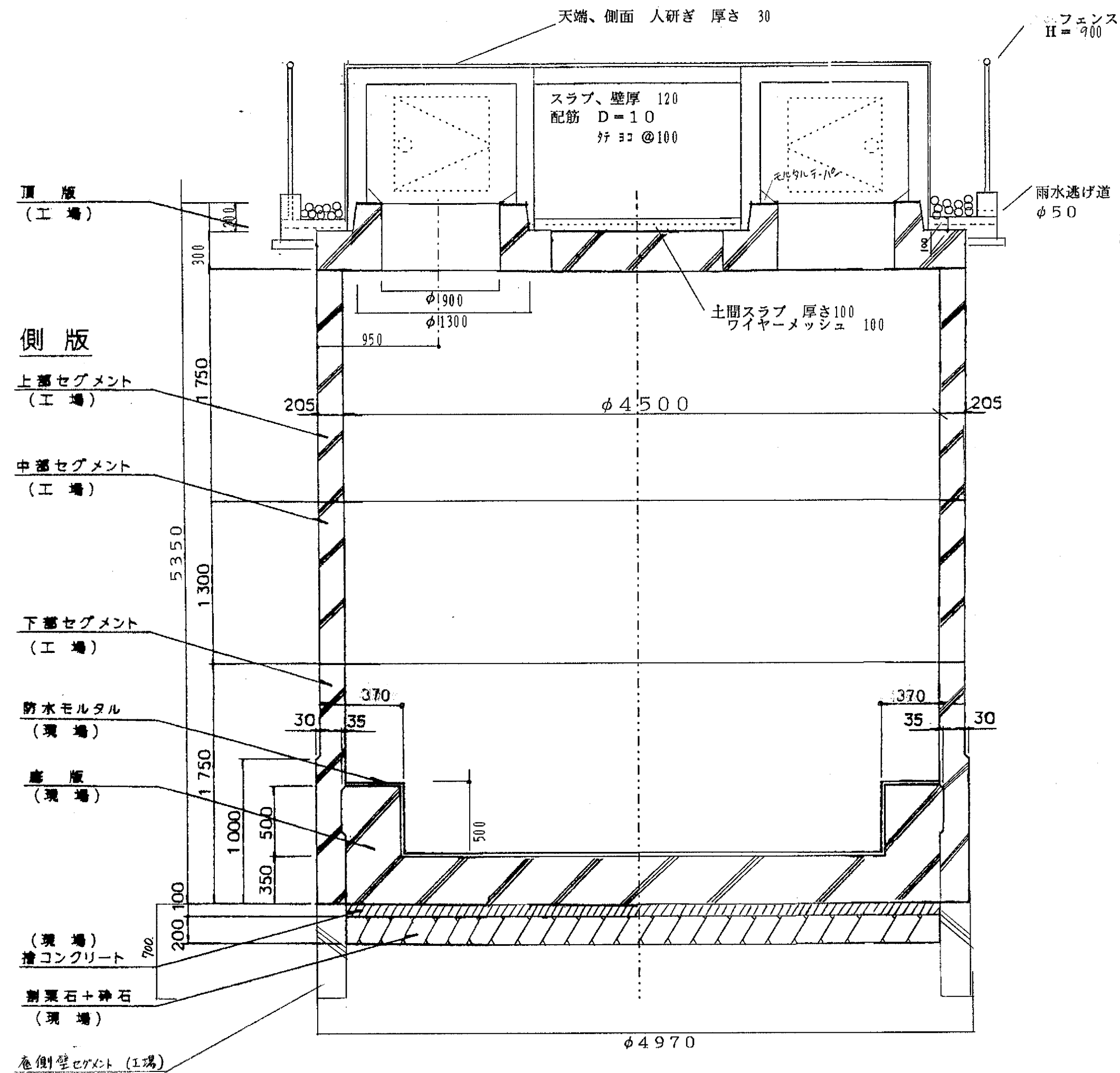
現況配置図、仮設計画図
1:500



撤去計画図 全体計画図
1:100

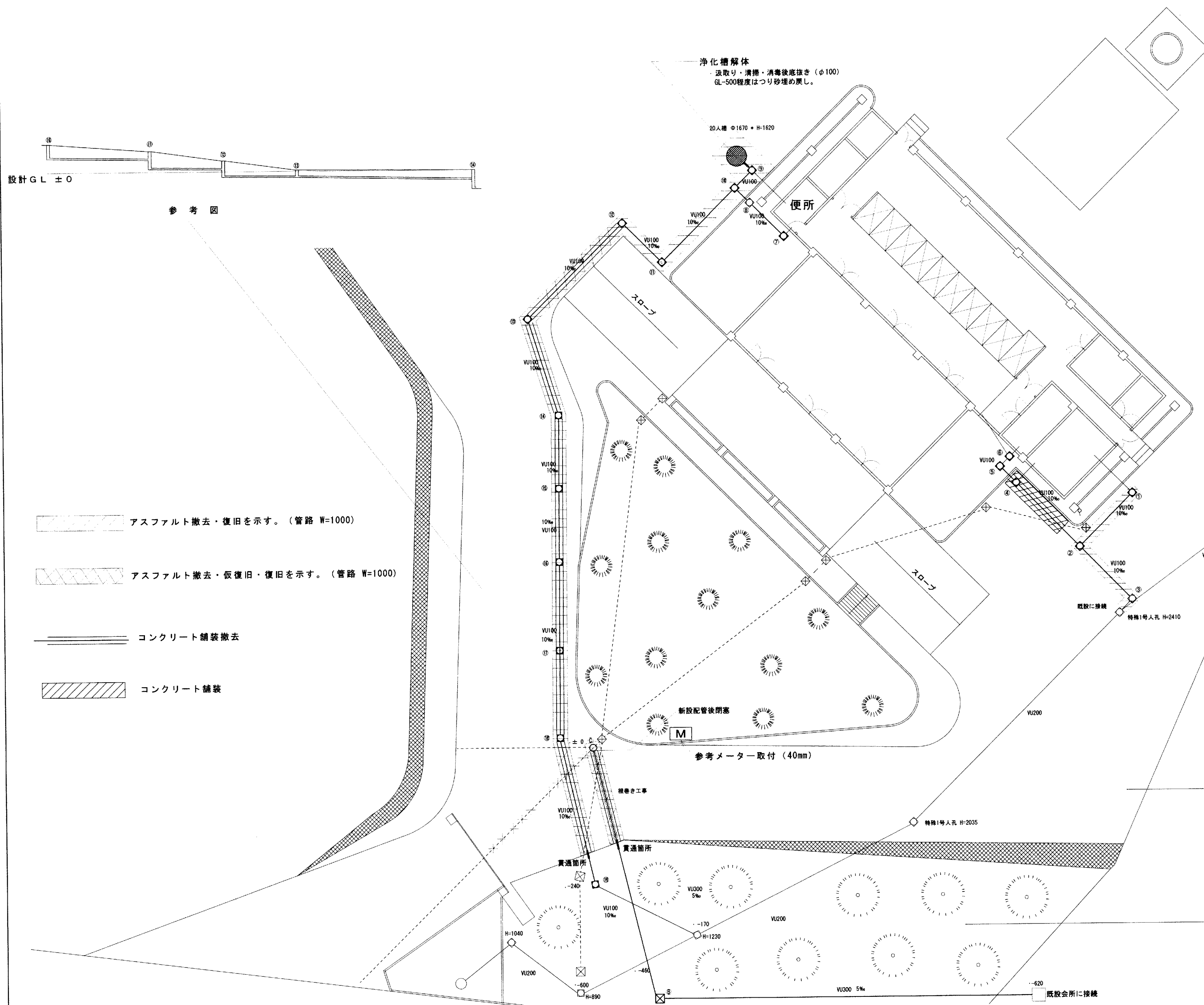
※残灰処理庫の位置は
再度現地立会の上
決定





PC二次製品メーカー
石川島建材工業

1 / 2



樹リスト							
記号	寸法	会所深さ	設計GL	備	考		
①	100-200 90L	520H	+1950	防護蓋 T14			
②	100*100-200 90Y	580H	+1950	防護蓋 T14			
③	100*100-200 90Y	670H	+1950	防護蓋 T14			
④	100-200 90L	460H	+1930	樹脂蓋			
⑤	100-200 90L	570H	+1800	樹脂蓋			
⑥	100-200 90L	540H	+1800	樹脂蓋 トラップ			
⑦	100-200 90L	300H	+1850	樹脂蓋			
⑧	100-200 ST	550H	+1850	樹脂蓋 ドロップ			
⑨	100-200 90L	570H	+1850	防護蓋 T14			
⑩	100*100-200 90Y	600H	+1850	防護蓋 T14			
⑪	100-200 90L	730H	+1930	防護蓋 T14			
⑫	100-200 90L	870H	+1930	防護蓋 T14			
⑬	100-200 45L	990H	+1930	防護蓋 T14			
⑭	100-200 ST	730H	+1430	防護蓋 T14 ドロップ			
⑮	100-200 ST	770H	+ 675	防護蓋 T14 ドロップ			
⑯	100-200 ST	800H	+ 80	防護蓋 T14 ドロップ			
⑰	100-200 ST	810H	+ 30	防護蓋 T14			
⑱	100-200 ST	940H	± 0	防護蓋 T14			
⑲	100-200 45L	1090H	- 460	樹脂蓋			
Ⓑ	600*600	1900H	- 460	防臭蓋 (MHB)			
Ⓒ	600*600	1000H	± 0	防臭蓋 (MHD)	既設改修		

- アスファルト撤去・復旧を示す。(管路 W=1000)
- アスファルト撤去・仮復旧・復旧を示す。(管路 W=1000)
- コンクリート舗装撤去
- コンクリート舗装

アスファルト舗装

未舗装

竣工 (株) 弥 栄

変		
更		
		
		
		

岸和田市建設部建築住宅課

年月日	製図	工事名	No.
縮尺 1/200		岸和田市斎場公共下水道接続工事	
		図名	
		新設配管図 (変更)	2 / 2